

保護者のみなさまへ

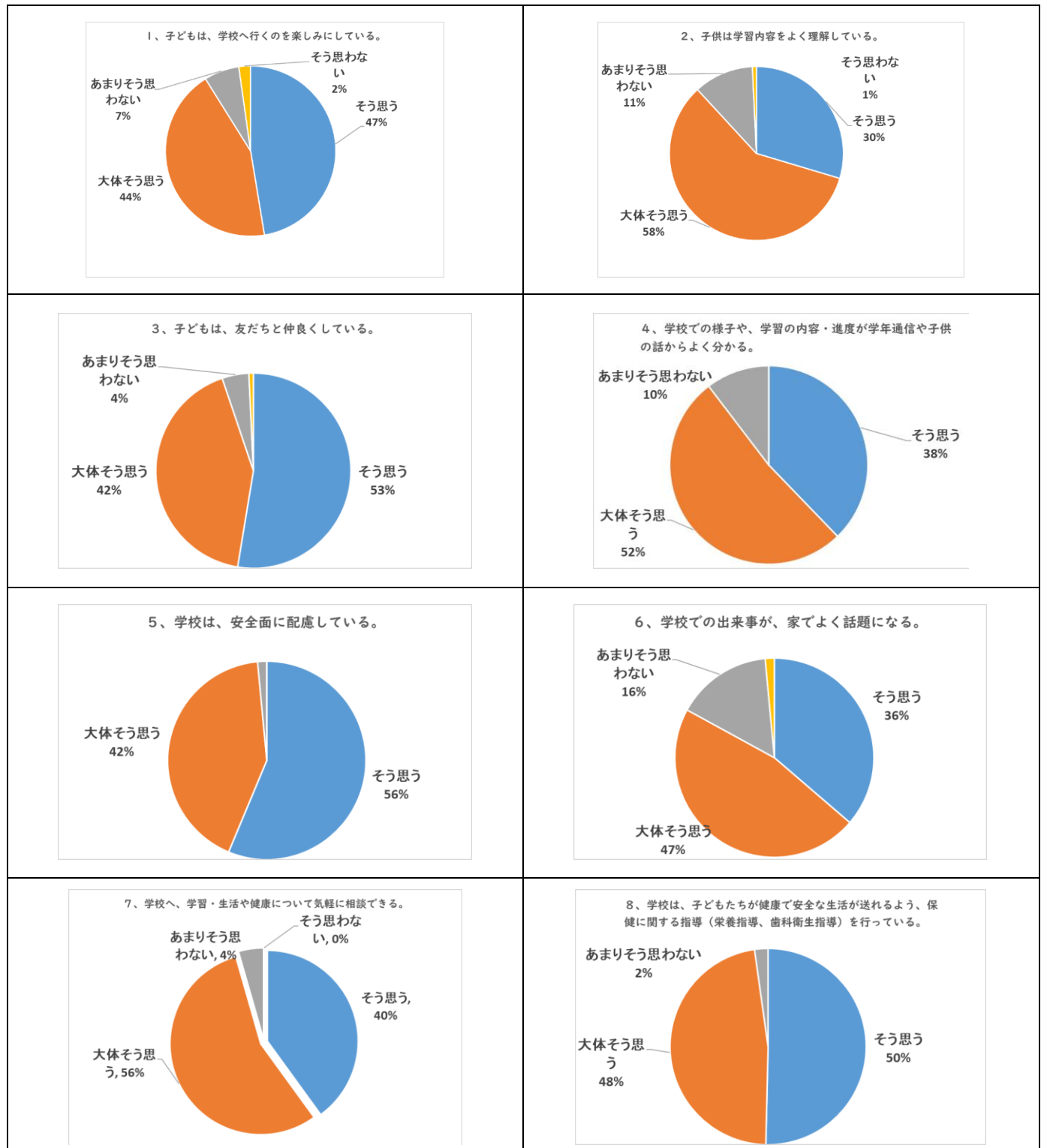
令和4年度 学校づくりアンケートについて

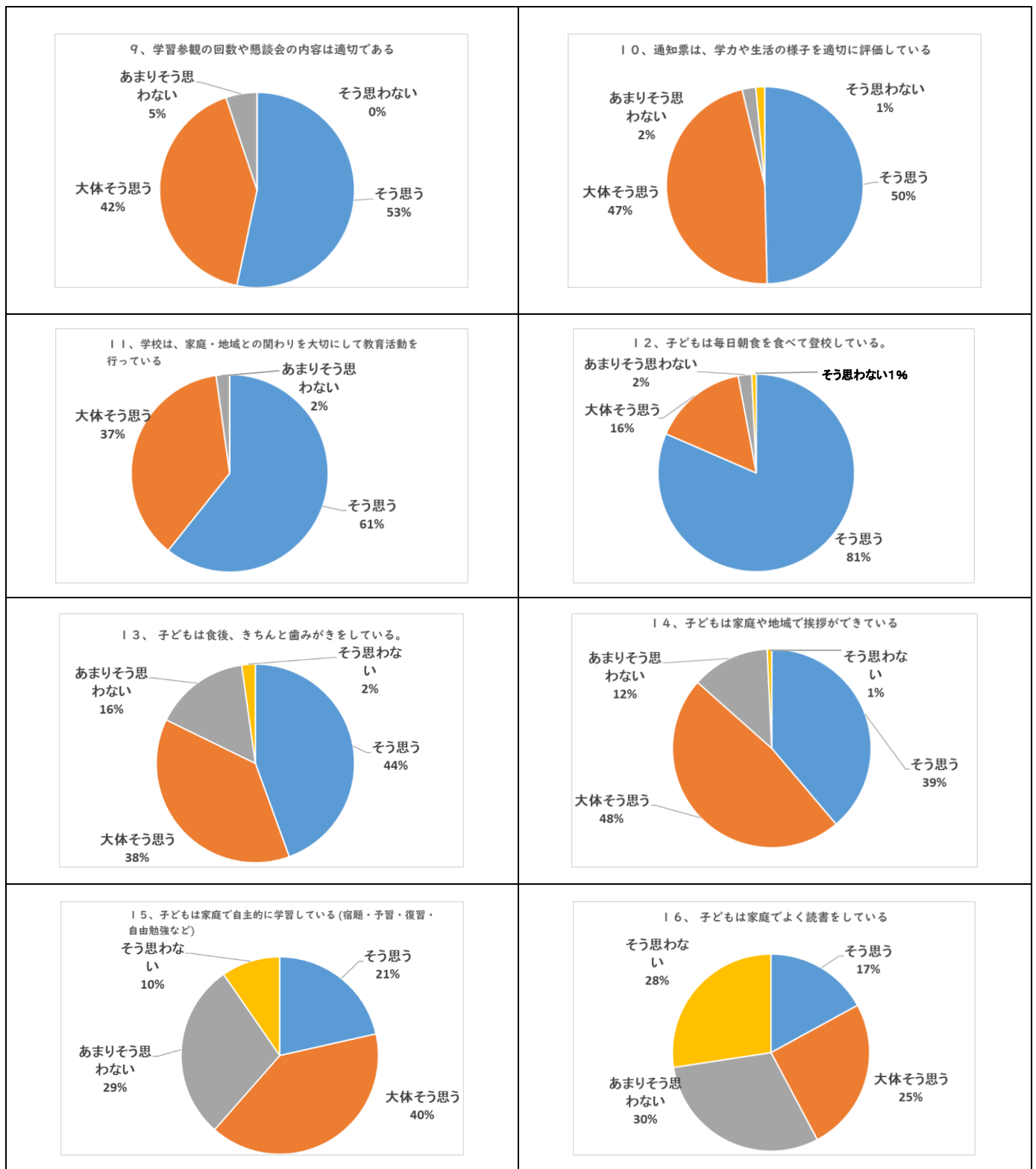
河内長野市立高向小学校
校長 森 知 佐 登

この度は、学校教育アンケートにご協力を賜り、誠にありがとうございます。

表中の円グラフに表された数値は、保護者のみなさまへのアンケートの結果です。また、以下の分析と記述においては、地域の見守り隊のみなさまへのアンケート（地域用アンケート）、高向小学校の子どもたちへのアンケート（児童アンケート）の結果を適時照らし合わせてご報告いたします。

【 保護者アンケート結果：令和5年2月実施 アンケート回収率 92% 】





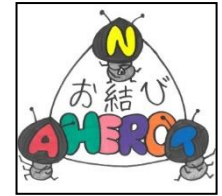
1. アンケート結果の概要

保護者アンケート調査全16項目の質問に対して、肯定的な回答「そう思う」または「大体そう思う」を選択された割合の平均値は87%と前年度と変わりませんでした。学校の取り組みに対し、一定のご理解が得られていると考えます。以下は、肯定的な回答が多かった項目と否定的な回答が多かった項目です。

○「そう思う」「大体そう思う」の合計値が高かった上位項目(割合別に5位まで)

- 3. 子どもは友だちと仲良くしている…95%
- 5. 学校は、安全面について配慮している…98%
- 7. 学校へ、学習・生活や健康について気軽に相談できる…96%
- 8. 学校は、子どもたちが健康で安全な生活が送れるよう、保健に関する指導(栄養指導、歯科衛生指導)を行っている。…98%

- 10. 通知票は、学力や生活の様子を適切に評価している…97%
- 11. 学校は、家庭・地域との関わりを大切にして教育活動を行っている…98%
- 12. 子どもは毎日朝食を食べて登校している…97%



○「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計値が高かった上位5項目

- 6. 学校での出来事が、家でよく話題になる…17%
- 13. 子どもは食後、きちんと歯みがきをしている…18%
- 14. 子どもは地域や家庭で挨拶ができています…13%
- 15. 子どもは家庭で自主的に学習している（宿題・予習・復習・自由勉強など）…39%
- 16. 子どもは家庭でよく読書をしている…58%

2. 各項目に見られる成果と課題

肯定的な回答の中でも、本校の保健安全、学校安全に関する教育活動に関する項目「5.学校は、安全面について配慮している」と「8. 学校は、子どもたちが健康で安全な生活が送れるよう、保健に関する指導(栄養指導、歯科衛生指導)を行っている。」は、それぞれ98%と、ほぼ100%に迫る肯定的な回答でした。今年度は、子どもたちの健康、安心・安全に関して、コロナ禍に工夫改善を重ねてきた感染症対策をもとに、ほとんどの行事や取り組みを再開させることができました。そのため、昨年度に続き、保護者のみなさまからも関心を寄せていただき、取り組みにご理解とご支援を得られたと考えます。さらに、「12.子どもは毎日朝食を食べて登校している。」が97%と、ご家庭での正しい生活習慣への高い意識が表れており、全ての教育活動の基盤となって子どもたちを支えています。心よりお礼申し上げます。こうした行事再開に伴って、「9. 学習参観の回数や懇談会の内容は適切である」が95%と、学校でのお子さまの様子も多くの方にご参観いただくことができました。保護者のみなさまにもその実感をいただいていることをうれしく思い、今後一層、内容の工夫充実に努めてまいります。

また、「11. 学校は、家庭・地域との関わりを大切にして教育活動を行っている」については、一昨年度から取り組んできた高向地区を舞台にした河内長野市の事業『ぐるっとまちじゅう博物館』は、本年度、現地開催が叶い、6年生が子ども文化財解説員として参加しました。解説の準備のために、高向地区のまちづくり協議会「ひまゆ会」をはじめ多くの地域のみなさまにご協力いただき、文化財の見学や説明をしていただきました。このような取り組み以外にもPTA役員・委員のみなさまや、花ボラ、見守り隊のみなさまや各学年の学習ボランティアのみなさまをはじめ、多くのご協力とご支援をいただきました。本当にありがとうございました。高向小学校は地域の学校としてしっかり根付いていることを実感し、教職員一同励みに感じております。

「10. 通知票は、学力や生活の様子を適切に評価している」は、令和2年度に市内小学校全てで3観点の通知表様式になって以来、6ポイントを下げた91%となっておりますが、本年度は97%の肯定的な回答をいただきました。解説プリントの配付や懇談会での説明を通して徐々にご理解をいただけてきたものと考えます。しかし同時に、分かりにくいとのご意見もいただいておりますので、課題として反省し、解説プリントの更新や配付のタイミング、懇談会での説明の仕方をはじめ、今後さらに丁寧な対応を検討してまいります。

「3. 子どもは友だちと仲良くしている」では、児童アンケートでは 95.8%、保護者アンケートでは94.8%、地域用アンケートにおいても肯定的な回答が91%と3者いずれも高い値の結果が出ています。この背景には、「7. 学校へ、学習・生活や健康について気軽に相談できる」が96%の肯定的な回答結果であることに表れているように、ご家庭、地域の中で多くの方が子どもたちの様子を見守り、気になることは学校へもお知らせ頂いていることがあります。また学校においては、昨年度より実践してきた『Be A HERO プロジェクト～いじめのない学校をつくるために～』の取り組みがあると考えます。本年度は西中校区の児童生徒会が中心となり、昨年度の取り組みを発展させてきました。また、本校の1,2年生では「HOALOHA タイム」を週 1 回実施し、いじめをなくすためにはどうしたらいいだろうということを様々な視点から考えました。今後も取り組みの充実に向けて、子どもたち一人ひとりが大切にされ、自分自身を大切にする仲間づくりや人権教育を進めていきます。

否定的な回答の合計値が高かった項目については、「6. 学校での出来事が、家でよく話題になる。」「13. 子どもは食後、きちんと歯みがきをしている。」に、それぞれ8割の肯定的な回答がある一方で、2割近い保護者の方が課題を感じておられます。6番の家での話題については昨年度より改善策として「高向小ブログ」を開設し、学校での様子をお伝えしてきました。2月より新しいホームページに移行していますが、引き続き子どもたちの活動の

様子が分かるような工夫に取り組んで参りたいと思います。13番の歯みがきについて、昨年度に比べて大幅に増えているわけではありませんが、新型コロナウイルス感染対策で行われなくなった給食後の歯磨きの再開を望む声はよく聞かれます。子どもたちの口腔環境を整えるためにも給食後の歯磨き再開を検討していきたいと思います。

また、「14.子どもは家庭や地域で挨拶ができています」「15.子どもは家庭で自主的に学習している（宿題・予習・復習・自由勉強など）」「16.子どもは家庭でよく読書をしている」の項目は、数年来続く課題です。14番の挨拶に関しては、コロナ以前と比べて肯定的な回答が10%増加しており、挨拶のできる子どもたちが増えているという嬉しい結果ではありますが、一方で児童アンケートでも11%が挨拶できていないと感じているという結果が出ており、児童自身が挨拶の大切さを感じて行動できるよう、指導と取組みの場を工夫していきます。

16番の家庭での読書に関しては、児童アンケートでも肯定的な回答が40%台と低い水準を抜けることができていません。学校では、ホビットさんの読み聞かせなど楽しみにしている子どもたちも多いのですが、高学年になるほど時間的な難しさも出てくるようです。今年度は、読書月間の取り組みをはじめ、5年生ではBI BestBook Battleに取り組むなど新しい試みを行いました。結果としては、まだ数値に大きな変化は見られていませんが、子どもたちが積極的な姿勢を見せて取り組んでいたことから、来年度もこうした取組みを継続するとともに、読書週間が定着するよう、本に触れ合う機会を増やす活動を考えていきたいと思っています。

3. 保護者・見守り隊アンケート自由記述欄について

保護者のみなさま、見守り隊のみなさまの記述欄では、貴重なご意見と、見守り隊のみなさまのボランティアによる見守り活動や教職員の取り組みへの感謝の言葉をいただきました。児童一人ひとりへ向けての愛情を深く感じ、本校教育活動へのご理解とご支援に心よりお礼を申し上げます。

★主なご意見

【保護者のみなさま】

- 通知票の形式が分かりにくい。項目が少ない(観点別)ので、何が良かったのか悪かったのか分かりません。
- はじめから危ないから禁止するのではなく、子どもに試させて、問題が起これば解決に向けて考えるという場を設けるという経験をさせて欲しい。
- 学校の先生方、見守り隊の方々に支えていただき感謝しております。ありがとうございます。
- 新型コロナウイルス対策で今後も給食を一人ずつ前を向いて食べるのならば、音楽等を流して楽しい雰囲気を作ってもらいたい。また、昼食後の歯磨きを再開してもらいたい。
- 新型コロナウイルス対策のしすぎで、子どもの教育活動が出来ていないと感じる時がある。

【見守り隊のみなさま】

- 通学路で道路の狭い場所があり、広げてもらうよう市、府への働きかけが必要だと考えます。
- 子どもたちの心身の成長がみることでできておもしろいです。
- 下校時に保護者が車で迎えに来られている場合、知らずに子どもを待っている時があります。
- 高向地区の見守りは登校時だけ実施しているが、下校時にも必要だと思います。
- 登校時の班長が下級生の隊列等持ち物等に気遣いながら登校しているのを見ると微笑ましく、頼もしく思います。このまますくすく育てほしいと思います。
- 登校時は見守り隊で、下校時には農作業中に「お帰り」等の言葉をかけ見守りをしています。
- 身勝手なドライバーが増えておりますので、今一度児童に注意喚起が大切だと思います。併せて、犯罪に巻き込まれない防犯行動も必要だと思います。
- 見守り時のあいさつができる児童が非常に少ないように思います。
- 冬期、ポケットへ両手を入れたままの子どもに注意をするのですが、なぜ危険なのかを話す時間がありません。
- 見守り活動が自分自身の健康保持につながっていると思っています。

学校全体に関わる課題やご意見につきましては、職員会議や各部会等で話し合い、今後の学校運営に活かしてまいります。本年度は、河内長野市の研究パイロット校の指定を受け、「思考ツール」を活かした授業づくり研究を進める、校区人権研修を実施するなど、教職員の指導力・学校教育力の充実にむけ取り組んでまいりました。これらの研究や研修が、日々の指導や保護者・地域のみなさまとの活動の中に少しでも多く生かされるよう、教職員一同努力してまいります。何かお気づきのことなどございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

今後とも、保護者のみなさま、地域のみなさまの、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。